

# 本数が少ないほどアツくなる！ 公共交通を活用したリアルすごろくイベントの可能性

辻辺貴晃・辻陽登・内海健・國弘もも（山口大学）

## 背景

### 山口県の現状

- 山口県は自家用車の利用率が高い
- 県内の観光地への移動手段も多くは自家用車
- 一方、大学生の自家用車の保有率は低い宇部キャンパスでは約40%、山口市キャンパスでは20%以下
- 山口大学生の多くは日常的に鉄道やバスなど公共交通を利用する頻度が少ない傾向

### 課題

学生が気軽に利用できる鉄道観光によって山口の  
良さに気付くきっかけが必要

## 概要

本イベントは、

- 鉄道網を活用したすごろくゲーム「桃太郎電鉄」を山口県の鉄道・バスを用いて実施
- サイコロを振り出た目の分移動し、ゴールとなる県内各地の駅を目指す
- 下車した駅周辺を散策して“魅力ある風景”を発見・撮影



地方鉄道に見受けられる次の電車の待ち時間もゲーム性の向上に活用

### 宣伝ポスター

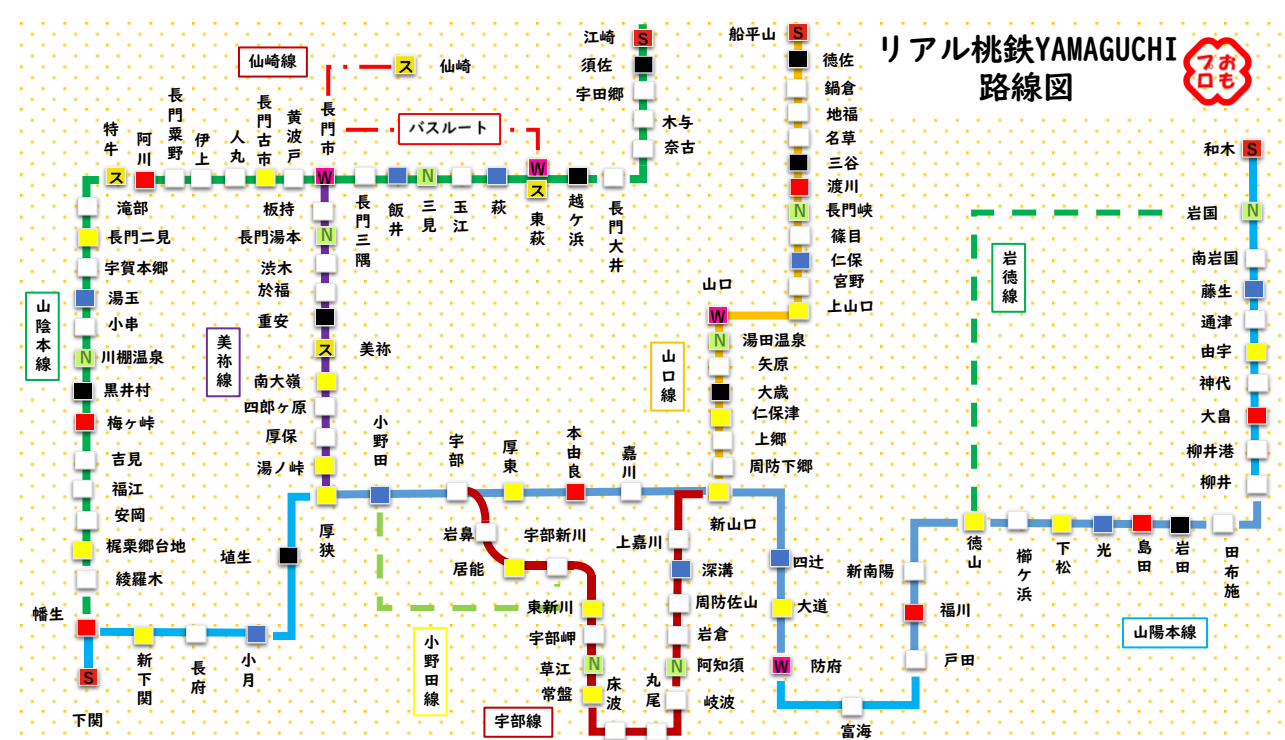


### 参加者

参加学生17名  
(男子 10名 女子 7名)  
チーム数：5チーム  
運営者 4名



### 路線図



県内全駅をマスに

### 企画の工程



予行演習  
7月



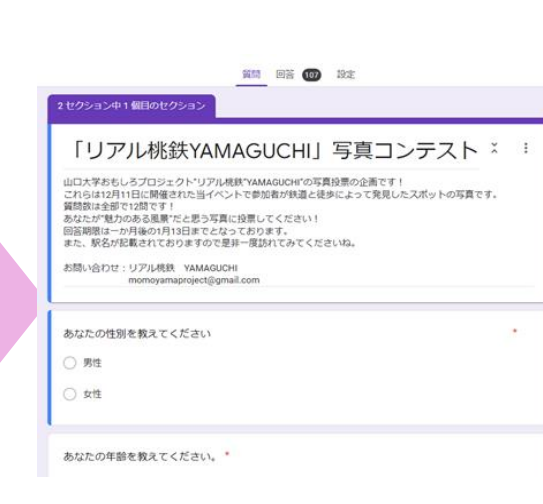
参加者募集  
(9月~11月)



説明会  
12月上旬



企画当日  
12月11日



写真投票  
12月~1月



表彰  
2月

※本企画は、令和3年度山口大学「おもしろプロジェクト」の支援を受けて実施

## 効果

参加学生17名対象のアンケート調査から

- 約95%の学生が鉄道を使用した旅は楽しかったと回答
- 次の電車までの待ち時間についても約70%の学生が楽しいと回答
- 約90%の学生が、山口県の新たな魅力を発見できたと回答

### 企画中

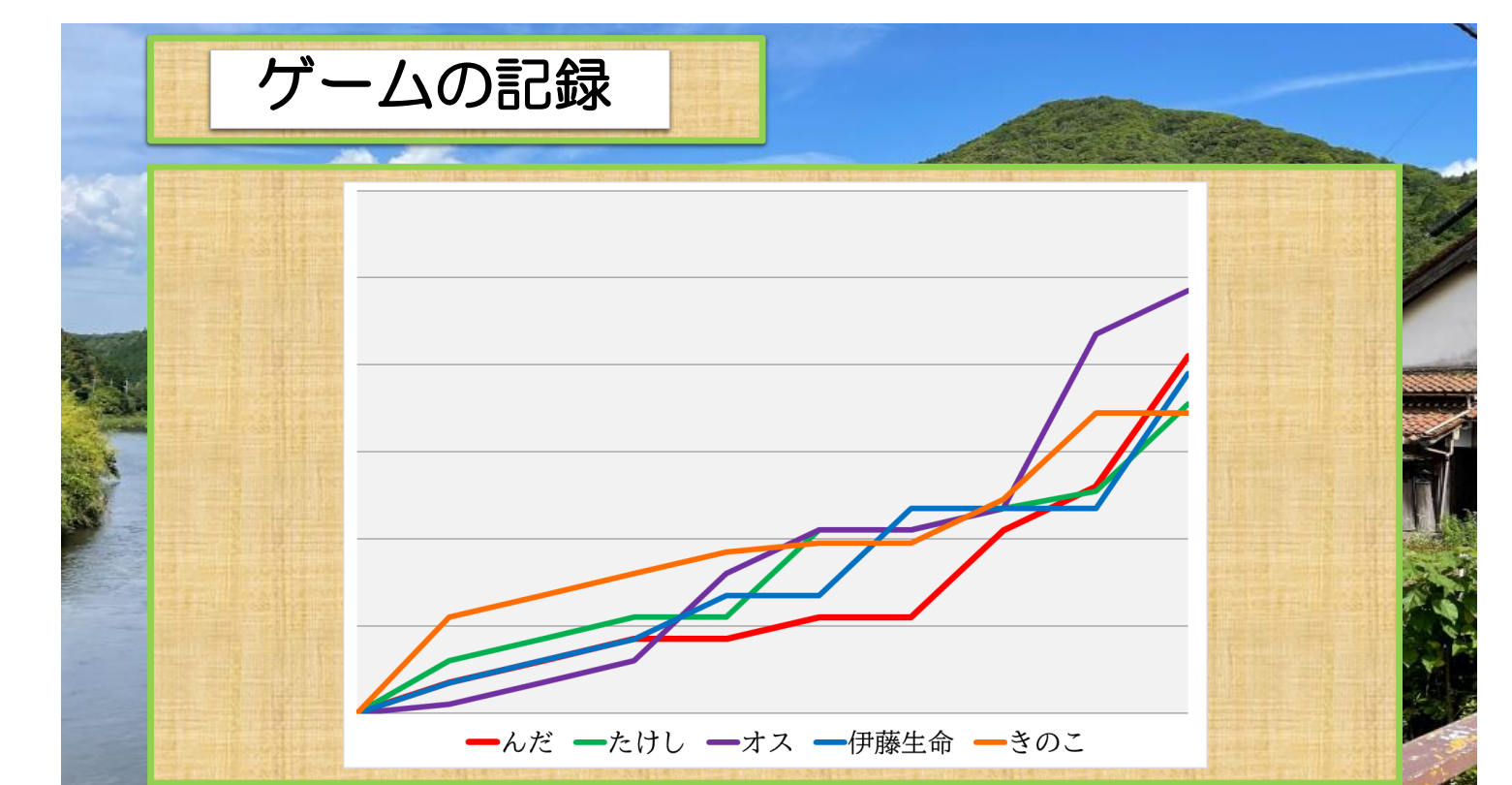
- 参加チーム5チームは、計45回下車
- 参加者の多くが初めて下車した駅であり、新たな山口県の魅力的な風景が発見

### 企画終了後

- 約1か月間、発見した魅力的な風景についてwebで写真の投票を実施
- 県内内外問わず計107名の方から投票を回収



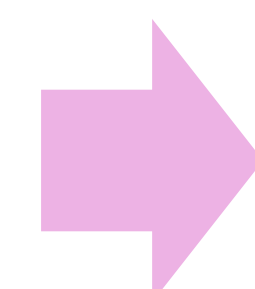
魅力ある風景



企画の結果

## 結論

地方部では □ 公共交通の利用者は減少傾向にある  
□ クルマ中心の観光情報



一日だけでも鉄道やバスを利用することが公共交通に対するイメージを変容させる

本企画によって、

- 参加学生は、鉄道を活用した観光を楽しんでいる可能性が示された
- 従来、マイナスのイメージの鉄道の長い待ち時間についても散策を行うことで観光することに变化させることが出来る